

令和6年7月26日(金)

第2回高槻市学校教育審議会 資料

高槻市における教育改革(第1回資料より)

「高槻市教育改革懇話会」
提言

2学期制の実施

ラーニングSプロジェクト

高槻市教育振興基本計画

「21世紀への新たな学校づくり - パートナーシップに基づく学校創造」(平成12年)

1年間のカリキュラム上の区切りの弾力化(平成19年)

「縦の接続」「横の連携」の強化(平成22年)

→連携型小中一貫教育の実施(平成25年度～平成28年度に全校実施)

→地域と連携した特色ある学校づくり推進事業(平成25年度～令和2年度)

第1期(平成27年度～令和2年度)

第2期(令和3年度～令和12年度)

重点取組(2) 施設一体型小中一貫校の設置

目標1-1 確かな学力の育成 (1) 9年間を見通した教育課程の編成と実施

目標2-1 学校力の向上 (5) 小中一貫教育の推進



本市における連携型小中一貫教育の目的

1. 子どもたちの心身の発達の実態に即した指導を行うことで、
知・徳・体の調和のとれた人格の形成を図る
2. 小学校6年、中学校3年の義務教育9年間の指導をより系統性を高め、
子どもたちの発達段階に応じたきめ細やかな指導により、学力の向上を図る
3. 6・3制を基本としながら4・3・2制を取り入れて課題を整理することにより、
学習や生活面をはじめとする従来の小中学校の枠組みにとらわれず、
学習意欲の向上や生活指導上の課題解決を図る

本市における連携型小中一貫教育の目的

4. 異年齢の児童生徒の交流や行事の合同開催、キャリア教育などを実施することにより豊かな心の育成を図る
5. 小中教員の協働により、小中学校互いの文化を共有し、相互理解することで、子どもの発達に適応した教職員の指導力向上や意識改革を図る

連携型小中一貫教育の推進に係る検討資料（平成22年）より

本市における連携型小中一貫教育の定義

同一中学校区内の小中学校で、共通の「①目標②指導内容③指導方法」が義務教育9年間を貫いて設定され実施される教育

連携型小中一貫教育の推進に係る検討資料（平成22年）より

本市における連携型小中一貫教育校に求められる項目

- ① 共通の教育目標(共通の目指す子ども像)が策定されている
- ② 指導内容、指導方法が義務教育9年間を貫いて設定され、連続性がある
- ③ 4・3・2制によるそれぞれの発達段階に応じた目標の重点化と
取組の重点化が行われている
- ④ 児童生徒の教育活動に連続性がある
- ⑤ 教職員間の連携が充実している
- ⑥ 地域、保護者の理解と協力が見られる

連携型小中一貫教育の推進に係る検討資料（平成22年）より

「連携型小中一貫教育」の成果(第1回資料より)

学習指導面

中学校区での課題の共有と授業研究の実施
⇒ 高槻の子どもたちの学力は着実に向上

生徒指導面

中学校区の学校間の密な情報共有が進む

地域連携

中学校区単位でコミュニティ・スクールがスタート

学校組織

中学校区の管理職および教職員の協働・連携が進む



連携型小中一貫教育 各校区の取組

- 中学校区グランドデザインの策定
- 小中9年間のカリキュラム研究の推進（系統表の作成等）
- 小中9年間の学校生活のきまりや家庭学習のやり方等の検討
- 小学校高学年での教科担任制の実施
- 中学校教員による小学校での授業の実施
- 中学校区での不登校支援体制の整備
- 中学校区でのコミュニティ・スクールの導入
- 中学校区での学校評価の実施

等

中学校区グランドデザインの策定

(様式1)

令和6年度 第二中学校区グランドデザイン

〈市のめざす社会像〉
多様な人々と協働しながら、一人一人が活躍し、安全で安心して豊かに暮らせる社会

〈市のめざす子ども像〉
人や社会とつながり、学び続け、よりよい自分と社会を創る子ども

中学校区のめざす子ども像
自ら考え行動し、人や社会とつながり、夢をもって生きる子ども

第二中学校 自ら考え行動する力、協働して生きる力をなくむ	芥川小学校 多くを学び、ともに探究し、大きな夢を持つ子どもの育成	都家小学校 自ら考えひととつながり夢を持って共に学ぶ子どもの育成	真上小学校 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる、まわめる子どもの育成	川西小学校 命を大切に、夢に向かって自ら学び、探究し、行動できる子どもの育成	芥川幼稚園 認め合い、支え合い、育ちあひ心豊かにこころで心豊かな子どもを育てる	都家幼稚園 きづきあひ、あひあひ、あひあひ心豊かにこころで心豊かに生きる子どもの育成
---------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------------	-------------------------------------------	--------------------------------------------	-----------------------------------------------

中期的な中学校区の経営ビジョン

前期(幼児～小学校4年)	中期(小学校5年～中学校1年)	後期(中学校2年～中学校3年)
目 標 自分の気持ちや考えを表すことができる人の話が聴ける	目 標 多様性を認めあう人と協力して成し遂げることができる	目 標 多様性を理解し人とつながることができる課題を見つけ人と協働して解決することができる
具体的な取組 1. 確かな学力の育成 ・学習習慣の定着 ・学び方(興味を持って聞く、調べる、試すなど)を身につける 2. 豊かな人間性の育成 ・様々な価値観に出会う ・自分の気持ちを人に伝える 3. 確やかな心身の育成 ・のぞましい生活習慣を身につける ・安全に注意して行動する ・運動を楽しむ態度を養う	具体的な取組 1. 確かな学力の育成 ・計画的に学習をする力をつける ・グループ活動の推進 2. 豊かな人間性の育成 ・様々な価値観(多様性)を理解する ・人の気持ちを理解する 3. 確やかな心身の育成 ・主体的に自地の安心・安全を守る ・自ら進んで運動に楽しむ態度を養う	具体的な取組 1. 確かな学力の育成 ・将来の目標に向けて、主体的に学習する力をつける ・人との交流を通して自分の考えを深める 2. 豊かな人間性の育成 ・多様な人とつながり協働する力をつける ・自分の生き方を考える 3. 確やかな心身の育成 ・自他の安心・安全を守り、地域に貢献する態度を養う ・生活にわたって運動に楽しむ態度を養う

今年度の中学校区の教育目標
多様性を認め合い、人とつながる中で、主体的に行動する力を育成する

今年度の中学校区の重点取組

- ・安全教育を充実させ、安心・安全な学校づくりを進める
- ・人とつながり、「学びに向かう力」を身につけ、「生きる力」(思考力、判断力、表現力)をつける
- ・すべての教育活動を通して、人と協力して成し遂げ、創り上げる楽しさを味わう

今年度の校区連携のテーマ

- ・高槻市教育センター委嘱研究「個別最適な学びと協働的な学び」に取り組み、「主体的、対話的で深い学び」の実現をめざす

- ①「中学校区のめざす子ども像」
- ②「中期的な中学校区の経営ビジョン」
- ③「今年度の中学校区の教育目標と重点取組」

①②③の内容を含め、校区の連携会議や
校区校園長会での検討を経て策定

※ 別添1

小中 理科の学習内容の系統表 (エネルギー)		エネルギー			
領域	内容	エネルギーの見方	エネルギーの変換と保存	エネルギー資源の有効利用	
小学校	3年	7 風やゴムで動かそう ●風の力は物を動かすことができること。 ●ゴムの力は、物を動かすことができること。	8 明かりをつけよう ●電気を通す方向と通さない方向があること。 ●電気を通す物と通さない物があること。	9 じしゃくにつけよう ●物には磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること。また、磁石に引き付けられる物には磁石に引き付けられる物があること。 ●磁石の異極は引き合い、同極は避け合うこと。	
	4年			4 電気のはたらき ●電気の物をつなぐ電力、をえると、音電球の明るさやモーターの回り方が変わること。 ●音電球を使ってモーターを回すことができること。	
	5年	10 ふりこのせまり ●おもりをつるばねの振り子で振る時は、おもりの大きさがよっては変わりますが、糸の長さによって変わる。		9 電流がうみ出す力 ●電流の流れているコイルは、磁石を動かす力があり、電流の向きが変わると電磁石の極が変わる。	
	6年	8 てこのはたらき ●身近につくられた種類の支点から等距離に物をつるし、力を加える位置や力の大きさを変えて、てこを傾ける働きが変わり、てこが回りやすくなる。		10 電気とわたしたちの暮らし ●電気をついて生活が便利になることができること。 ●電気は、光、音、熱などに変わることができること。 ●電球の発熱は、その熱によって変わる。	
	1年	力による現象 ●力の性質 ●力の大きさを量る ●力の向き ●力の働き ●水の物体にはたらく圧力 ●気圧	光と音 ●光にはどんな性質があるのだろうか ●物に当たった光、反射や折り返すのか ●凸レンズのはたらき ●音にはどんな性質があるのだろうか ●音はどのように伝わっていくのか		
中学校	2年		電流の性質 ●電流が流れる回路 ●閉路を流れる電流 ●閉路には電圧 ●電流の強さは何で決まるか ●電流の向き(電力) ●電流の正体は何か ●静電気・帯電を流れる電流の正体		
	3年	仕事とエネルギー ●仕事の定義、計算 (1 J = 1 N・m) ●仕事量(仕事)の単位(仕事率) ●仕事率(仕事)の単位(仕事率) ●仕事率(仕事)の単位(仕事率)	運動の規則性 ●力のつり合いと合成・分解 ●力のつり合い ●力の合成 ●力の分解 力と物体の運動 ●物体の運動 ●運動の粒子 ●力とは何か(物体の運動) ●摩擦の役割(物体の運動) ●物体間ではたらく(作用反作用の法則)	いろいろなエネルギー ●エネルギー(単位) ●仕事の単位 ●エネルギー(単位) ●エネルギー(単位) ●エネルギー(単位) ●エネルギー(単位)	人間と自然のかかわり ●自然のエネルギー ●火山や地震と人間生活のかかわり ●気候の変化と人間生活のかかわり
			科学技術と人間 ●科学技術の発展 ●科学技術の発展		

9年間の連続性のある 指導内容・指導方法の研究

9年間の各教科等の指導内容の系統表

※ 別添2

令和6年度 第三中学校区 キャリア教育全体計画 (第三中学校・芝生小学校・丸橋小学校・寿栄小学校)			
第三中学校区 めざす子ども像		第三中学校区 めざす子ども像	
<p>一人一人が、個性・興味・関心をもち、夢をもち、挑戦し、成長する子ども。自ら学び、進んでいく子ども。自ら考え、行動する子ども。</p>		<p>一人一人が、個性・興味・関心をもち、夢をもち、挑戦し、成長する子ども。自ら学び、進んでいく子ども。自ら考え、行動する子ども。</p>	
児童・生徒の発達段階			
<p>・人が社会の中で生きていくために必要な基礎的スキル ・人間関係を築くことができる ・生活習慣・学習習慣の定着を図る ・積極的に関わり、自分で考える力が身につく ・読書・読解力、継続する力の育成が必要 ・書意・文意を読み取り、読者の気持ちや考えの理解が深まる ・学習態度・学習意欲・学習習慣の定着を図る ・読書・読解力、継続する力の育成が必要 ・書意・文意を読み取り、読者の気持ちや考えの理解が深まる</p>		<p>・人が社会の中で生きていくために必要な基礎的スキル ・人間関係を築くことができる ・生活習慣・学習習慣の定着を図る ・積極的に関わり、自分で考える力が身につく ・読書・読解力、継続する力の育成が必要 ・書意・文意を読み取り、読者の気持ちや考えの理解が深まる ・学習態度・学習意欲・学習習慣の定着を図る ・読書・読解力、継続する力の育成が必要 ・書意・文意を読み取り、読者の気持ちや考えの理解が深まる</p>	
第三中学校区で育みたい「キャリア教育4つの力」＝社会的・職業的自立に必要な「基礎的・汎用的能力」			
自己理解・自己管理能力	課題対応能力	人間関係形成・社会形成能力	キャリアプランニング能力
たかめる力 自ら学び続ける力	かながえる力 自ら課題に対応する力	つながる力 仲間・社会とつながる力	きりひろく力 やりがいを感じ未来を拓く力
自分の進歩を振り返り、未来を見据えて目標や役割を考え、主体的に行動することができる。	社会生活の中で自ら課題を発見し、手段や方法を選択し、活用して、課題解決に向けて対応することができる。	相手の気意をよく読み、仲間と共に考えぬき、心算がよくなるようになり、社会に参加することができる。	自らが必要な情報を取捨選択し、活用しながら適切な判断を行うことができる。
教科等におけるキャリア教育の指導内容(具体的な目標・取組)			
自己理解・自己管理能力	課題対応能力	人間関係形成・社会形成能力	キャリアプランニング能力
<p>【目標】 自分の進歩を振り返り、未来を見据えて目標や役割を考え、主体的に行動することができる。</p> <p>【取組】 ①自己理解の振り返り(自己評価シート) ②自己理解の振り返り(自己評価シート) ③自己理解の振り返り(自己評価シート) ④自己理解の振り返り(自己評価シート) ⑤自己理解の振り返り(自己評価シート)</p>	<p>【目標】 社会生活の中で自ら課題を発見し、手段や方法を選択し、活用して、課題解決に向けて対応することができる。</p> <p>【取組】 ①課題発見(観察・体験) ②課題発見(観察・体験) ③課題発見(観察・体験) ④課題発見(観察・体験) ⑤課題発見(観察・体験)</p>	<p>【目標】 相手の気意をよく読み、仲間と共に考えぬき、心算がよくなるようになり、社会に参加することができる。</p> <p>【取組】 ①相手の気意をよく読む(観察・体験) ②相手の気意をよく読む(観察・体験) ③相手の気意をよく読む(観察・体験) ④相手の気意をよく読む(観察・体験) ⑤相手の気意をよく読む(観察・体験)</p>	<p>【目標】 自らが必要な情報を取捨選択し、活用しながら適切な判断を行うことができる。</p> <p>【取組】 ①必要な情報を取捨選択(観察・体験) ②必要な情報を取捨選択(観察・体験) ③必要な情報を取捨選択(観察・体験) ④必要な情報を取捨選択(観察・体験) ⑤必要な情報を取捨選択(観察・体験)</p>
★実社会教育(共助・公助)			
★実社会教育(自助・共助・公助)			
★実社会教育(自助・共助)			
<p>【関連する活動の内訳(項目)】 A. 主として自分自身に関すること</p>	<p>【教育活動基本計画】 「教育活動基本計画」に基づき、各教科等におけるキャリア教育の推進を図る。</p>	<p>【教育活動基本計画】 「教育活動基本計画」に基づき、各教科等におけるキャリア教育の推進を図る。</p>	<p>【関連する活動の内訳(項目)】 B. 主として他者や社会との関わりに関すること</p>

9年間の連続性のある

指導内容・指導方法の研究

9年間の各教科等の指導内容の系統表

※ 別添3

にじわタイム 学びのプロセス



9年間の連続性のある

指導内容・指導方法の研究

総合的な学習の時間

系統性のある探究学習

冠小・南大冠小・冠中

～冠中学校区 学びの道～

目指す小学6年生の姿	
相手に伝わるように話そう 話す人が安心できる反応をしながら聴こう	
話す	聴く
<ul style="list-style-type: none">○相手の方を向いて話す。○相手に届く声の大きさを話す。○結論から話す。○理由を話す。○仲間の考えと比較して話す。	<ul style="list-style-type: none">○相手の方を向いて聴こう。○最後まで聴く。○話を聴き、反応する。○自分の考えと比べながら聴く。○相手が一番言いたいことは何か 考えながら聴く。

↓

目指す中学3年生の姿	
相手の意見を聞き、それに対する自分の意見が言えるようになろう	
話す	聴く
<ul style="list-style-type: none">○相手の反応を見ながら話す。○仲間の考えと比較して話す。○理由や事例をあげて話す。○仲間の意見を引用して話す。	<ul style="list-style-type: none">○大切なことはメモをとりながら聴く。○自分なりの反応を示しながら聴く。○仲間の意見を聴き、自分なりの感想や考えを持ち、次の自分の発言につなげる。

9年間の連続性のある

指導内容・指導方法の研究

子どもが自ら説明する場面での

話し方や聴き方の指標

【学校教育目標】

<舞手小学校>	<第八中学校>	<奥平小学校>
<ul style="list-style-type: none"> ■自ら学び、粘り強くやり続ける力を育てる。 ■互いの人権を認め合い、仲間と共に協力し、自主的に行動する力を育てる <p>～やさしくかしこくたくましくなかまとともに育つ～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■自ら学ぶ意欲を持ち、主体的に学習できる生徒を育成する。 ■人権を尊重し、仲間と共に協力し、自主的に活動できる生徒を育成する。 ■心身ともに健全な生徒を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■主体的に学び 自らの長さを認め合い 志高く 挑戦し続ける子どもの育成 <p>～高めよう思考力、身に付けよう遠征力・行動力～</p>

家庭学習の約束 3 か条

1. 机の上を片付けて学習しよう。
2. よい姿勢で学習しよう。
3. 集中して学習しよう。



★家庭学習に力を入れ、計画を立てて学習に取り組むことで、自学自習力、自ら考え計画を立てる力を育てていきましょう

名称：当賞（ダンショウ）
・地域のキャラクター
・みんなの幸せのために活躍する風



家庭学習について、自分の目標を書きましょう。

八中校区 家庭学習の手引き

めざす子ども像 『自立・共生・チャレンジ』

前期が終了しました。みなさん、成績表（あゆみ）の結果はどうでしたか？ 中校区では、小学校1年生から中学校3年生までの9年間、家庭学習を継続して取り組むことで、子ども達に学習の定着と自学自習力、自ら考える力を身に付けることを目指しています。

この資料を参考に、前期の自分自身のようすをふり返り、後期でしっかり学習に取り組んでほしいと思います

かていがくしゅう 家庭学習 = しゅくだい 宿題 + じぶん おこな 自分で行う勉強

ふくしゅう 復習

学校で習ったことを、もう一度ふり返って、理解し定着させよう！



高槻市マスコットキャラクター
「はにたん」

よしゅう 予習

前もって調べて、授業を理解しやすくしよう！

けいぞく 継続

毎日取り組むことが大切です。継続は力なり！

たんきゅう 探究

わからなかったことや興味を持ったことを調べてみよう！

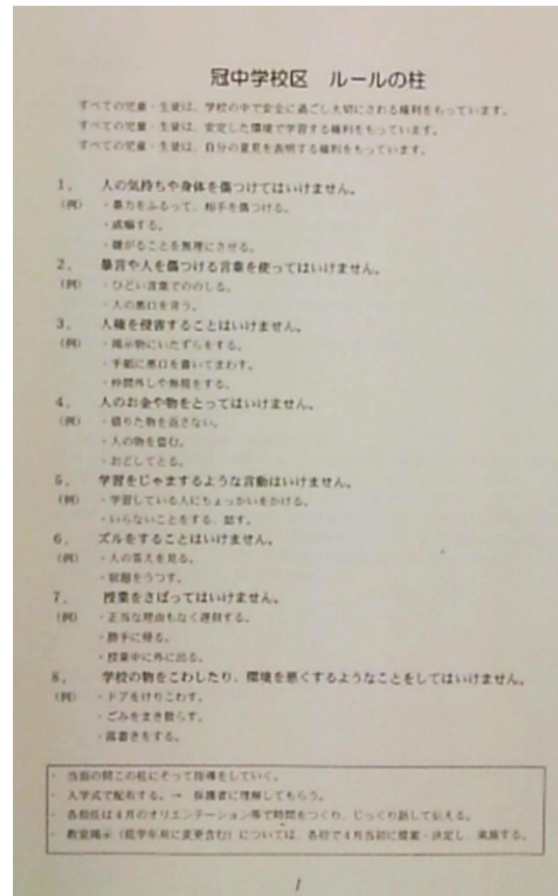
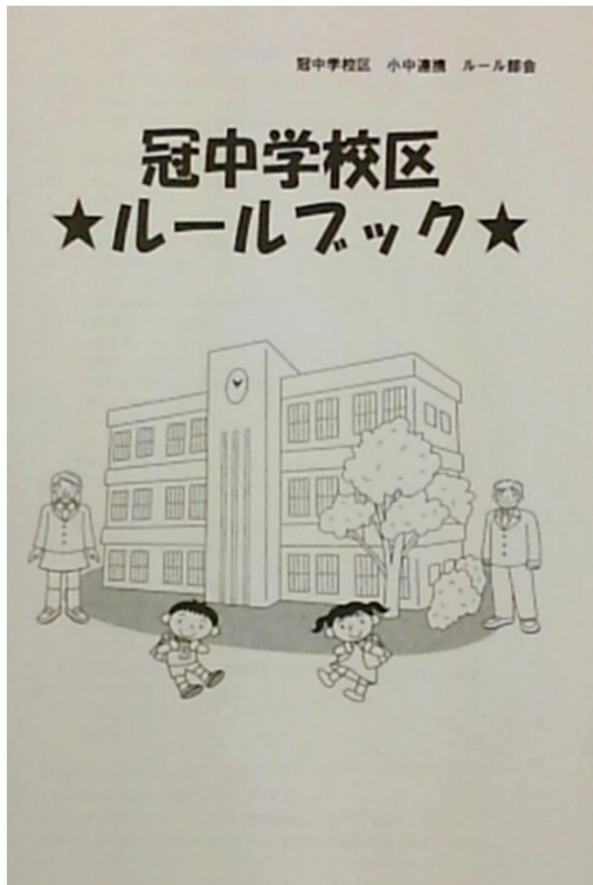
理解すること、継続すること、自分で取り組むことで、学力がつくと同時に、自信がきます。時間や方法など、自分で計画して、家庭学習に取り組んでみましょう。

保護者の皆様へ

保護者の皆様は、ぜひ励みとなるお声かけをお願いします。「わかった！」「できた！」を認めることで、さらに意欲的に取り組むことができます。

9年間の連続性のある 指導内容・指導方法の研究

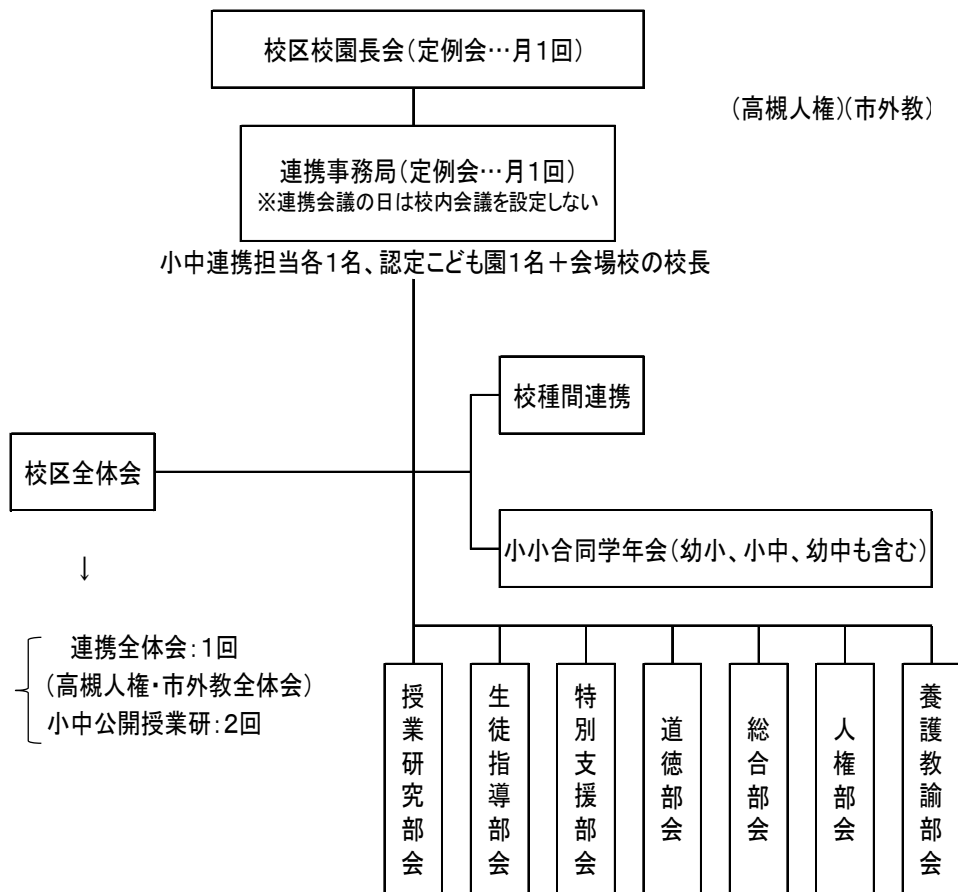
家庭学習の手引き



9年間の連続性のある 指導内容・指導方法の研究

基本的な学校生活上のきまり

令和6年度第七中学校区「連携型小中一貫教育」組織図



校区連携の状況

連携型小中一貫教育の組織図

校区連携の状況



校区連携会議・校区研修



校区連携の状況



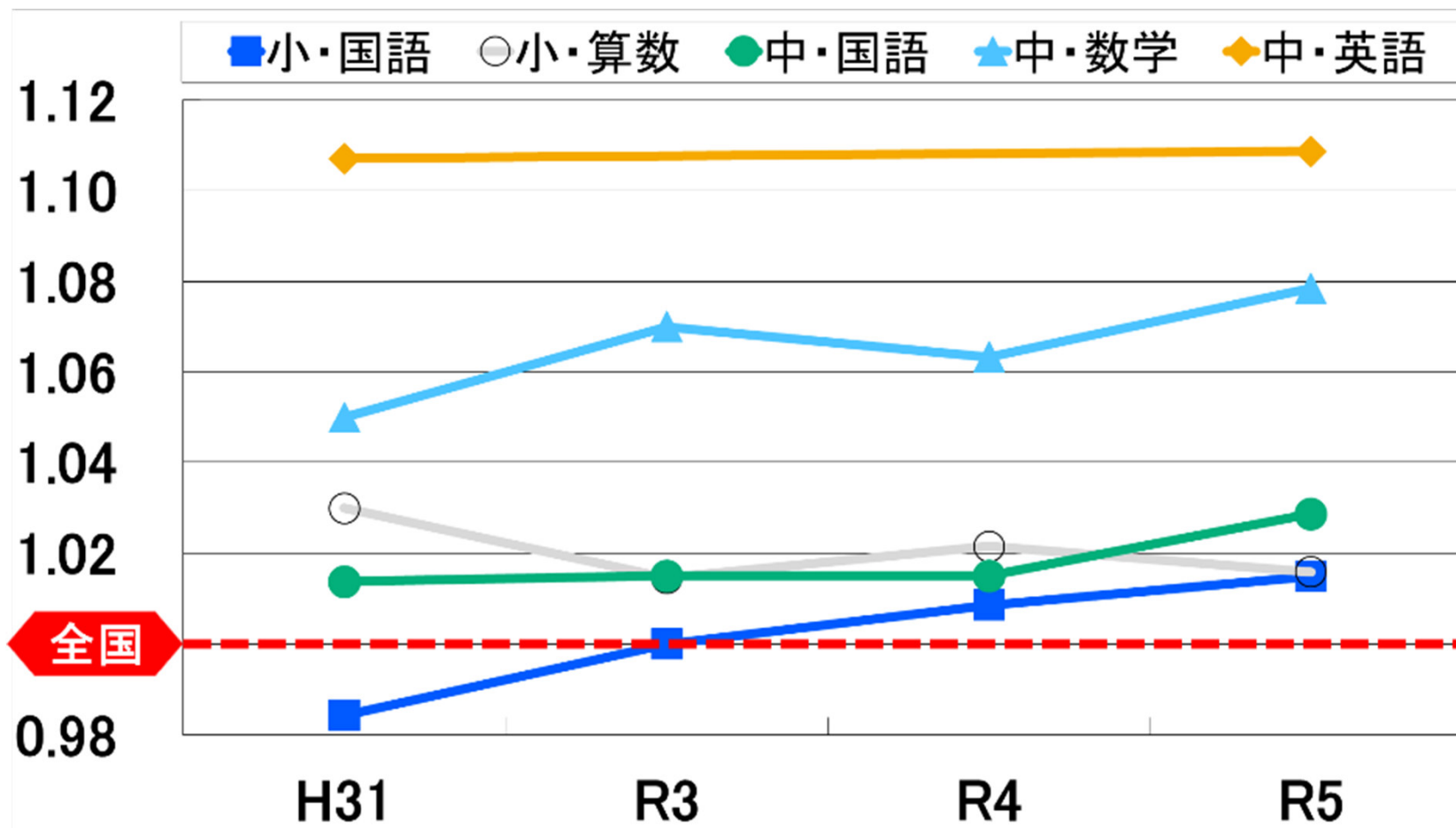
校種を超えた児童生徒の学び

「令和5年度全国学力・学習状況調査 学校質問紙調査」より

	高槻市				全国
	1	2	3	4	肯定的な回答 (1+2)
前年度までに、近隣等の小(中)学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	36.6%	48.8%	14.6%	0%	63.7%
	85.4%		14.6%		
前年度までに、近隣等の小(中)学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	34.1%	63.4%	2.4%	0%	62.8%
	97.5%		2.4%		

1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった

「全国学力・学習状況調査」結果の経年比較



顕在化した新たな課題(第1回資料より)



学習指導面

教育格差 ⇨ すべての子どもたちに確かな学力を

生徒指導面

近年、不登校児童・生徒数が大幅に増加

地域連携

中学校区単位での地域連携のさらなる活性化

学校組織

連携型 ⇨ 組織がそれぞれの学校に存在

連携型小中一貫教育の成果をさらに高めるために

- 「共通の教育目標」としてのグランドデザイン
- 前・中・後期の学年区分を踏まえた系統性・連続性のある教育活動
- 児童生徒、教職員、保護者、地域の「義務教育9年間」の意識
- 教職員間の連携における時間の確保



これらをより発展・充実させる組織体制が重要

全国の義務教育学校 設置状況

全国の義務教育学校

学校数 : 国立 5校 公立 201校 私立 1校 前年比 29校増

設置形態: 施設一体型 …187校 施設隣接型 …7校 施設分離型 …12校
その他 (一体型と分離型が併存) …1校

【令和5年度 学校基本調査】

府内の義務教育学校 設置状況

- すでに義務教育学校を設置している市町（10市町） ※令和6年4月現在

市町村名	義務教育学校名	設置形態	開校
守口市	さつき学園	施設一体型	平成28年
和泉市	南松尾はつが野学園	施設一体型	平成29年
池田市	ほそごう学園	施設一体型	平成30年
羽曳野市	はびきの埴生学園	施設一体型	平成30年
東大阪市	義務教育学校池島学園	施設分離型	平成31年
	義務教育学校くすは縄手南校	施設分離型	平成31年
八尾市	高安小中学校	施設一体型	平成31年
大阪市	義務教育学校生野未来学園	施設一体型	令和 4年
能勢町	能勢ささゆり学園	施設一体型	令和 4年
豊中市	庄内さくら学園	施設一体型	令和 5年
貝塚市	二色学園	施設一体型	令和 6年

- 設置計画を進めている市町 ※()は開校予定年度

交野市(R7)・門真市(R8)・豊能町(R8)・泉南市 など

豊中市立庄内さくら学園

開校 : 令和5年4月

学校の形態: 義務教育学校(施設一体型)

児童生徒数: 1113人(47学級)

学校の概要: 豊中市で初めての義務教育学校として開校

3小2中を統合し、隣接していた庄内小・第六中学校跡地に建設

南部地域の拠点となる「庄内コラボセンター」も学校と連結しており
庄内図書館等と連携した教育活動を実施

4-3-2制で9年間を見通した系統的で一貫性のある指導を実施



豊中市立庄内さくら学園

